

市長発言要旨

【回答事項】

①今冬の大雪と米沢市の除雪について

まず、雪の状況ですが、2月13日現在の累積降雪量は545cm、最大積雪深は162cmに達しています。大雪だった令和3年の最大積雪深154cmを上回り（累積降雪量は686cm）、災害級の豪雪となっています。

本市としては、「きめ細やかな除雪・排雪」の実現を目指し、除雪に関して距離清算から時間清算への変更、また、主要道路の排雪・幅出しの拡充、除排雪協力会での住宅街道路（3種道路）の排雪促進など新たな取り組みを進めてきました。2月6日に私が本部長の米沢市豪雪対策本部を設置し、全庁挙げての対応体制もとっているところです。

効果についてですが、市民からの問い合わせ件数でみますと、令和7年2月13日時点で780件でした。大雪だった令和3年度は2,160件であり、大きく減っています。このうち、「除雪が悪かった、ザケ取り、幅出しの要望など」は290件でした。令和3年度は780件であり、こちらも減っています。路線によって差があり一概には言えませんが、目的どおり、きめ細かな除雪作業が行われた路線が増えたためではないかと推測しているところです。

人的被害についてですが、2月16日時点で、米沢市の死亡はゼロ、山形県は3名です。重傷者は米沢市が20名、県全体では63名となっています。住宅などの被害は、住宅半壊が1か所（調査中で変更もあります。）、非住宅全壊が3か所などとなっています。

また、予算措置ですが、本年度の除雪対策事業は当初予算として約8億3千万円を計上し、さらに2月臨時会で2億5千万円の補正予算を提出し、議決をいただいております。これまでに約10億8千万円の予算を計上しています。しかし、2月初旬の大雪のため、すでに9割以上を執行しており、追加予算が必要となっている状況です。最終的な除雪費は約20億3千万円になるものと見込んでいます。国に対してすでに要望活動を行っていますが、国土交通省、総務省などに対して、社会資本整備交付金、特別交付税の増額、臨時道路除雪事業費補助金を要望し、しっかりと財源を確保してまいりたいと思います。

向こう一週間、本市は雪の降る日が続き、降雪量も増えるとの予報があります。引き続き、警戒を怠らず、市民生活への影響を少しでも軽減できるよう努めてまいります。

②上杉雪灯籠まつりについて

今年の来客数であります。プレ点灯の7日も含め、3日間で約5万3千人でした。昨年が約10万8千人でしたので、約半減という結果となりました。

減少の要因は、大寒波による大雪の影響で、市内・近隣在住の方々の出足が悪かったこと、8日と9日に山形新幹線が終日運休するなど、首都圏等の県外からの集客ができなかったことなどがあげられます。

成果ですが、昨年度のアンケート結果から情報発信に課題があったことを踏まえ、今年度はDMO（米沢観光推進機構）が主体となり、SNS（Instagram）でイベント開催情報や会場案内などの発信を強化し

た結果、来場者の満足度向上に繋がりました。また、この大寒波の中にもかかわらず、当初予定の雪灯籠製作団体が一団体もキャンセルすることなく、協力いただいたことはコンセプトのひとつである「市民参加」への意識高揚と郷土愛の意識醸成の現れと考えているところです。

なお、経済波及効果は、約2億7千5百万円と試算しているところです。

課題としましては、インバウンド誘客プロモーションの結果、団体バス旅行による台湾の方を中心とした多くのインバウンドの来場があった一方、会場内の案内では、多言語による看板標記が整っていないなど受入れ態勢に課題がありました。また、今回からシャトルバス発着所をおまつり広場に集約するなどテント村の認知度向上を図りましたが、悪天候や来場者の減少もあってテント村での売り上げが大きく減少しました。来年度は来場者の動線向上や情報発信を含め、更なるテント村の魅力向上に努めてまいります。